

解 答

① 問1 A 飛脚 B 宿場 C 中山道

問2 荷物の積み替えをせずに運べること。

問3 房総半島沖は黒潮に逆らって進まなければならず、さらに江戸に向かうには都合の良い風を待たなければならなかつたから。

問4 ウ 問5 エ

② 問1 エ 問2 エ

問3 鉄道や自動車に比べ、内航海運の割合は大きく変動せず、ほぼ一定である。

問4 輸送量は自動車が多いが、内航海運は長距離を輸送するため、輸送トンキロでは割合が大きくなるから。

問5 (1) 夜の間にターミナルで荷物を集約して輸送している。

(2) 各地に支所を設けることで、担当地域に効率良く荷物を届けることができるようになっている。

問6 1日に何度も店に運ぶようにしている。

問7 海外生産が進み、生産台数が減少した。

③ トラックは荷物の積み替えなく、目的地まで輸送できる利点がある。第二次世界大戦後、高度経済成長期になると、国内で多くの自動車を生産できるようになった。また、道路の整備によってトラックのまま日本各地に長距離輸送が可能となった。やがて1970年代に宅配便が始まると、ターミナルや支所間を輸送する流通のしくみにもトラックの利点が合っていた。また、コンビニエンスストアなどに商品を1日に何度も輸送するのにもトラックが向いていた。これらのことから、トラックは輸送の主力となった。